

# JHL NEWS

No.18

2013年2月12日

●発行●  
日本ハンドボールリーグ機構  
会長 多田 博  
東京都渋谷区神南1-1-1  
電話 03-3481-2494

## 湧永がプレーオフへ！ オムロンは広島に惜敗

### ～第37回日本ハンドボールリーグ・第17週～

第37回日本ハンドボールリーグ・第17週は2月9～11日に男子8試合、女子3試合が行われ、湧永製薬が男子で3枚目のプレーオフ切符を獲得、女子は首位のオムロンが2位の広島メイプルレッズに1点差で敗れた。

9日香川での湧永トヨタ自動車東日本は、この試合に勝てばプレーオフ進出が決まる湧永が勢いのある攻守で前半10分8-2と先行。その後、東日本は上野のミドルシュートなどで反撃するも、湧永が終盤に連続得点をあげ19-11で前半を折り返す。後半、東日本は高めの3:2:1ディフェンスに変更するなどして流れを変えようとするが、湧永は堅守からの速攻で着実に得点を加えて主導権をキープ、危なげなく逃げ切った。

同じく大同特殊鋼トヨタ車体は、22分過ぎまで両者が持ち味を發揮する展開で10-10と互角だったが、その後、車体が高智のカットイン、藤本のサイド、速攻などの連続得点で15-11とリードして前半を終了。後半に入り10分過ぎまでお互い得点をあげ4点差のまま試合が進んでいく。しかし、車体が多彩なセット攻撃と速攻でじわじわと点差を広げ、18分過ぎに8点差をつけた後も藤本、高木らで加点して30-20と快勝した。

初のプレーオフ進出に意欲を燃やす琉球コラソンは大分と佐賀で2試合を戦い、北陸電力、豊田合成に連勝した。北電戦は高いプレスディフェンスから相手のミスを誘って着実に速攻を決め、さらに水野裕紀が起点となり、セットでも得点を重ねて前半を18-9とリード。後半に入って北電が粘りのディフェンスからリズムをつかみ3点差まで迫る場面があったが、落ち着いた攻守で対応した琉球が31-25で勝利した。翌日の合成戦は琉球が内山の得点で22分8-7と先行したのに対し、合成も長江、今村がシュートを決め11-9と逆転して前半を終了。2点ビハインドを背負った琉球だったが後半に入ると本来のリズムに乗り始め、東長濱、連、村山らが次々と得点し、6分には16-12と一気に劣勢を覆した。琉球はその後もGK石田の好セーブもあり優位をキープ、中島、長江らで追撃する合成につけ入る好きを与えて27-21で白星を握った。

9日熊本での女子・オムロン・広島は、前半27分まで一進一退の攻防が続いたあとオムロンが藤間の好セーブをきっかけに3点を連取し、14-12と先行してUターン。後半開始直後、オムロンが4点差とするが広島もよく粘り、新城がサイドから、大前がポストから決め、逆転の口火を切った。これで勢いづいた広島は大前、高山の連打で優位に立つと、その後はGK田口のファインセーブが光り、19分22-19と3点リード。終盤のオムロンの追撃を振り切った広島が1点差で首位攻防戦を制した。年明けから強化してきたという広島の5:1ディフェンスが功を奏した一戦だった。



②2連勝で4位に浮上した琉球コラソン・連  
③オムロンに競り勝った広島メイプルレッズ・高山

### 第18週の日程

	福井	北陸電力福井体育馆フレア(えちぜん鉄道観音町駅徒歩5分)	14:00～	(男) 北陸電力 × 豊田合成
2月16日(土)	広島	中区スポーツセンター(広電広電本社前駅徒歩3分)	14:00～	(女) 広島メイプルレッズ × H C 名古屋
	鹿児島	霧島市国分体育馆(JR日豊本線国分駅徒歩15分)	13:05～	(女) ソニーセミコンダクタ × オムロン
	富山	富山市総合体育馆 (JR北陸本線富山駅徒歩5分)	14:00～	(女) 北國銀行 × 三重バイオレットアイリス
2月17日(日)	奈良	生駒市市民体育馆(近鉄奈良線生駒駅徒歩15分)	14:00～	(男) 大崎電気 × トヨタ自動車東日本
	佐賀	神埼中央公園体育馆(JR長崎本線神埼駅徒歩5分)	15:00～	(男) トヨタ紡織九州 × 大同特殊鋼
	沖縄	沖縄市体育馆(琉球バス「沖縄市運動公園前」下車徒歩1分)	14:00～	(男) 琉球コラソン × 湧永製薬

**上位2チームの進撃が続く**

9日大分での男子・大崎電気－トヨタ紡織九州は、大崎が得点を決めると紡織がすぐに追いつく展開でスピードあふれる攻防を繰り返し、17-16と大崎1点リードで前半終了。後半も攻守の入れ替わりが激しく、目の離せない展開が続く中、15分過ぎに小室が退場したピンチを堅いディフェンスでしのいだ大崎が次第に流れをつかみ、宮崎の素早いプレーなどで26分35-30とリード。そのまま紡織の追撃を振り切って首位の貫禄を見せた。

11日高知では2位のトヨタ車体と3位の湧永製薬が対戦。谷村のロングショットなどで主導権を握った湧永が14-12とリードして前半を折り返した。しかし、後半に入ると10分までに高智のロングショットなどで車体が16-14と逆転。対する湧永も今井、東江らで追撃したが車体のディフェンスを崩せず、25-23で車体が接戦を制した。

◆ 2月9日(土) 男子  
大分・大分県立総合体育館

琉球	18-9	北陸電力
コラソン	31 ( 13-16 )	25
6勝1分7敗		2勝0分11敗
0 / 0 久 高	神 田 1 / 2	
5 / 8 村 山	切 越 5 / 11	
2 / 4 3 / 11 東長濱	桜 井 1 / 1	
2 / 4 水野矢	田 0 / 0	
0 / 0 小橋川	杉 山 2 / 7 3 / 4	
3 / 4 積	落 合 2 / 4	
1 / 5 横 本	川 小 1 / 2	
<0/2> K 内 田	廣瀬 K <1/3	
2 / 3 名 嘉	原 山 2 / 2	
1 / 2 内 山	瀬 戸 0 / 0	
3 / 4 連	宮 下 0 / 0	
<1/2> K 石 田	川 添 K	
9 / 15 水野紀	赤 塚 6 / 9	
	佐 木 2 / 2	
	有 江 K <1/1	
	櫛 田 0 / 0	

2/4	29/56	11(FPP) 13	22/40	3/4
0.000	0/ 3	内 田	廣瀬	4/17 0.23
0.321	9/28	石 田	川添	0/ 3 0.00
			有 江	12/25 0.48
0.290	9/31	(GK)	16/45 0.35	
	審判 (角井・堀川)		観客	648人

◆ 2月10日(日) 男子  
佐賀・神埼中央公園体育館

トヨタ紡織		(	20-14	)	31	北陸電力
九州	37	(	17-17	)	31	2勝0分12敗
5勝2分7敗						
<1/1>	K 松 野	神 田	0 / 0			
6/14 中 島 切	越 4 / 5					
6/ 6 西 端 桜	井 1 / 2					
0/ 0 上 田 前	田 0 / 0					
6/ 7 村上秀 前	山 7 / 8					1/2
0/ 0 吳相民 落	杉 4 / 6					
0/ 0 佐久間 小	合 1 / 1					
0/ 0 村上勝 廣	川 K					
6/ 7 海 道 原	瀬 3 /					
1/ 1 栗 崎 原	原 0 / 0					
0/ 0 柳 宮 戸	下 0 / 0					
<0/2>	K 下 野 川 添	川 0 / 0				
0/ 0 藤 本 赤 塚	木 5 / 9					1/1
7/11 鈴 木 佐 々 木	江 4 / 9					
0/1 4/ 8 藤 黒 橋	田 0 / 0					
1/ 1 石 黒						
0/1 37/55 5(FPP)5 29/46 2/3						

0.182	4/22	松	野	廣瀬	3/14	0.21
0.313	5/16	下	野	有江	9/35	0.25
0.237	9/38	(GK)		12/49	0.24	
	審判(亀井・堀川)			観客	531人	

◆ 2月9日(土) 男子  
香川・高松市香川総合体育館

湧永製薬	36	(	19-11 17-10	)	21	トヨタ自動車 東日本 1勝0分12敗
9勝1分3敗						
2/3	5/ 5 谷 村	瀨 K <1/1>				
	3/ 3 木 村	濱 口 3/ 9				
	3/ 3 坂 本	郷 古 0/ 1	1/1			
	2/ 5 成 田	遠 藤 2/ 3				
	3/ 7 東 江	斎 田 0/ 0				
	5/10 佐 藤	吉 田 2/10				
	3/ 4 名 嘉	佐藤 謙 0/ 0				
	0/ 0 新	閻 口 K <0/2>				
	3/ 4 仁 平	桑 名 2/ 5				
	1/ 1 今 井	佐藤 文 2/ 4				
<1/2>	K 松 村	崎 前 0/ 1	0/1			
	0/ 0 古 家	上 野 9/17				
	5/10 中 浦					
	1/ 4 新 名					

2/3	34/56	2(FPP)9	20/50	1/2
0.429	15/35	シュー一ト阻止率 松 村	永 瀬 12/38 0.316 閻 口 3/11 0.273	
0.429	15/35	(GK) 審判 (寺内・細川)	15/49 0.306 観客 868人	

◆ 2月9日(土) 男子  
大分・大分県立総合体育馆

大崎電気	37	(	17-16	)	35	トヨタ紡織
14勝0分0敗			20-19			九州
						4勝2分7敗
K	浦和		松野	K	<0/3>	
1/ 1 染谷	中畠		7/13			
3/ 4 豊田	端		2/ 5			
5/ 9 崎上	田		0/ 0			
3/3 4/ 9 東長	村上秀		11/13			
2/ 3 永島	吳相民		1/ 3			
0/ 1 小室	佐久間		0/ 0			
0/ 0 馬場	村上勝		0/ 0			
1/ 4 森海	道崎		2/ 3			
4/ 4 岩栗	永嶋		0/ 0			
1/ 1 夏柳	柳		0/ 0	1/1		
3/ 4 内下	野	K				
0/ 2 猪下	藤本		0/ 0			
<1/3> K 吉妻	鈴木		3/ 3			
2/ 3 時村	藤山		7/11	1/2		
8/ 8 信太	石黒		0/ 1			

3/3	34/53	9(FPP)	5	33/52	2/3
0.286	4/14	浦	和	松	野 9/33 0.273
0.343	12/35	吉	田	下	野 2/12 0.167
0.327	16/49	(GK)		11/45	0.244
審判	(本田・田淵)			観客	840人

◆ 2月11日(月) 男子  
愛媛・松山市総合コミュニティセンター体育館

大同特殊鋼	40	(	22-14	)	22	トヨタ自動車東日本
6勝1分7敗		18-	8			1勝0分13敗
K	田	中	瀬	K	<0/1>	
1/1	4/	6棚	永濱	口	5/13	
1/1	5/	6野	郷	古	0/ 1	
	2/	2浦	遠	山	2/ 2	
	1/	2渡久川	齊	藤	0/ 0	
	3/	3地	佐藤	謙	0/ 0	
	1/	1武	佐藤	文	2/ 4	
	7/10	岸川	前	3/ 5	1/1	
<0/1>	K	久保侑	上	野	7/15	
	3/	加藤				
	0/	千々波				
	7/	9山城				
	K	東				
	5/	7下村				
	0/	高景洙				

2/2	38/54	5(FPP)	6	21/45	1/1
0.167	2/12	田	中	瀬	3/ 9.0 333
0.588	10/17	久	保	口	6/38 0.158
0.429	3/ 7	東			
0.417	15/36	(GK)		9/47 0.191	
	審判	(大熨・山本)		観客	866人

◆ 2月9日(土) 男子  
香川・高松市香川総合体育馆

トヨタ車体	30	(	15-11	)	20	大同特殊鋼
13勝0分1敗		15-	9			5勝1分7敗
K木	下	田中	K	<0/1		
0/1笠	原	棚原	0/3	1/1		
4/9石	戸	野村	1/6	0/1		
5/9高	智	浦田	0/0			
3/3藤	本	渡久川	1/1			
0/0藤	田	地引	4/6			
3/5高	木	武田	0/1			
2/4木	切倉	岸川	2/5			
2/3富	田	久保佳	K	<1/1		
1/1光	増	加藤	2/2			
4/6鶴	谷	千々波	0/2			
<1/2>	K坪根	山城	3/5			
0/2香	川	東	K	<0/1		
1/2崎	前	下村	1/2			
2/3渡	部斐	高景洙	5/10			
	K甲斐					

2/3	28/48	9(FPP) 7	19/43	1/2
0.423	11/26	木下	田中	4/14 0.280
0.000	0/ 3	坪根	久保	7/25 0.280
0.000	0/ 1	甲斐	東	0/ 0 0.000
0.367	11/30	(GK)	11/39	0.280
審判	(池淵・檜崎)		観客	957人

◆ 2月10日(日) 男子  
佐賀・神埼中央公園体育館

琉球	9-11	豊田合成
コラソン	27 ( 18-10 )	21
7勝1分7敗		2勝3分9敗
0/ 0 久 高	藤 戸 K <0/1	
5/10 村 山	榎 原 3/ 5	
1/1 6/ 9 東長濱	原 0/ 0	
0/ 0 水野矢	野 田 2/ 4	0/1
0/ 0 小橋川	大 橋 0/ 1	
0/ 0 積	桶 谷 2/ 4	
4/ 8 榎 本	中 島 4/ 8	
K 内 田	長 江 4/ 4	
3/ 4 名 嘉	加 田 0/ 0	
4/ 7 内 山	藤 村 K	
3/ 5 連	今 村 5/ 8	
<1/1> K 石 田	中 村 0/ 0	
1/ 6 水野紀	芳 仲 1/ 1	
	藤 堂 K	
	岡 館 0/ 2	
	盛 盛 0/ 1	

1/1	26/49	6(FPP) 5	21/38	0/1
0.000	0/0 内	田	藤	戸 0/0 0.000
0.364	12/33 石	田	藤	田 0/1 0.000
			藤	堂 13/38 0.343
0.364	12/33	(GK)	13/39	0.333
審判	(本田・田渕)		観客	300人

◆ 2月11日(月) 男子  
高知・くろしおアリーナ

トヨタ車体	25	( 12-14 )	23	湧永製薬
14勝0分1敗		( 13- 9 )		9勝1分4敗
<0/2>	K 木	下	谷 村	7/12
0/ 2	笠 原	木 村	2/ 2	
3/ 6	石 戸	坂 本	0/ 0	
11/12	高 智	成 田	1/ 1	
0/ 1	横 地	江 本	0/ 0	4/5
2/ 6	藤 佐	藤 佐	0/ 1	
0/ 0	藤 本	嘉 佐	0/ 0	
0/ 0	高 木	名 伊	藤 K	<0/1
0/ 3	木 切	伊 新		2/ 7
2/ 3	倉 田	平 仁		2/ 5
0/ 0	富 増	井 今		4/ 5
0/ 2	光 谷	松 村	K	<0/1
0/ 0	鶴 谷	古 村		0/ 0
1/ 5	香 川	浦 中		1/ 9
2/2 4/ 5	崎 渡	前 部		0/ 0
<1/3>	渡 甲	斐 琲		

2/2	23/45	6(FPP)	3	19/42	4/5
0.313	5/16	木	下	伊	藤
0.529	9/17	甲	斐	松	村
0.424	14/33		(GK)	13/36	0.36
審判	(本田・田渕)			観客	1013人

## 北國ら上位陣が順当に勝利握る

10日佐賀での男子・トヨタ紡織九州-北陸電力は、開始直後から両チームがスピードあふれる攻撃で点の取り合いとなる中、紡織が村上秀の速攻、中畠のステップシュートなどで優位に立ち、20-14とリードして前半を終えた。後半に入り杉山、赤塚らで追撃した北電が19分29-29と同点に並んだが、このあと地元サポーターに後押しされた紡織が中畠らの活躍で再びスパートをかけ、37-31と北電の攻撃を抑え込んで勝利した。

11日愛媛での大同特殊鋼-トヨタ自動車東日本は、前半10分まで7-8と東日本の先行を許していた大同がタイムアウト後に逆転に成功すると、その後は棚原、下村らで得点を奪い8点リードで前半を終えた。後半も大同が野村らで着実に加点。東日本はミスが失点につながる苦しい展開となり、40-22で大同が快勝した。

9日愛知での女子・H C名古屋-北國銀行は、前半15分5-5の場面から北國が6-0ディフェンスで高めにシフトしてプレスをかけ、名古屋が攻めあぐねる間に速攻やカットインなどで次々と得点を奪い、14-7で前半終了。後半も北國は堅い守りで名古屋の得点を阻み、11分過ぎから石野、田邊らで10点連取して試合を決めた。

9日三重での三重バイオレットアイリス-ソニーセミコンダクタは序盤こそ互角の展開だったが、エース早船を徹底マークされて得点が止まった三重に対し、ソニーは6分過ぎから藤井の7mスローや高橋の速攻などで7点連取し一気に点差を広げた。20-6とソニーリードで迎えた後半、三重は小稻、黒川らで反撃したが前半の失点が重すぎた。

広島、福井などで男子4試合、女子3試合が行われる次週では、残り1枚のプレーオフ切符の行方を大きく左右する琉球コラソン-湧永製薬、紡織-大同戦の行方に注目。女子はオムロンがソニーを破ればレギュラーシーズン1位が濃厚となる。



プレーオフへ望みをつないだトヨタ紡織九州・藤山

◆ 2月9日(土) 女子 愛知・プラザ一本体育館		◆ 2月9日(土) 女子 三重・名張市総合体育館		◆ 2月10日(日) 女子 熊本・熊本県立天草工業高等学校体育館	
北國銀行 28 ( 14-7 ) 16	H C名古屋 9勝1分3敗	HC名古屋 16 ( 14-9 ) 0勝0分13敗			
<1/4> K 寺 田	近 藤 K	1/ 2 山田菜	浅 井 K <1/3>	<0/1> K 堂 面	藤 間 K <2/4>
0/ 0 若 泉	池 田 0/ 2	5/ 8 高 橋	横 川 0/ 0	4/11 増 田 1/ 1	澤 田 1/ 1
1/ 1 鰐 場	伊 藤 1/ 1	0/1 4/ 5 田 中	竹 内 0/ 0	0/ 0 高 橋	卷 0/ 0
1/ 3 上 町	福 井 3/ 9	3/ 4 山田梨	大 山 0/ 1	0/ 0 河 田	稻 葉 2/ 3
0/ 0 翁 長 和	高 橋 3/ 8	0/ 0 儀 間	阿 久 田 2/ 5	4/ 6 大 前	藤 井 5/10 1/1
6/ 8 石 野 鈴	木 4/11 1/2	1/ 1 古 川	富 田 0/ 0	6/14 宋 海 林	石 立 4/ 7
4/ 5 田 遷	細 田 0/ 0 1/1	0/ 1 川 崎	石 坂 1/ 4	0/ 0 塩 田	吉 田 薫 0/ 0
0/ 0 小 野 澤	阪 本 1/ 1	1/ 2 黒 木	飯 田 0/ 1	5/ 7 早 川	相 澤 0/ 0
4/ 4 横 鳴 か	藤 田 0/ 0	K 飛 田	石 川 0/ 0	0/ 0 安 齋	永 田 0/ 1
4/ 7 後 藤	上 野 1/ 2	3/ 6 石 井	毛 利 K <0/3>	0/ 0 塩 田	山 中 K
K 田 代	家 城 K	0/ 1 錫 倉	黒 川 4/ 5	4/ 8 高 山	勝 連 1/ 7
2/ 4 河 田	山 内 0/ 0	K 南	伊 藤 0/ 1	K 田 口	吉 田 起 0/ 0
6/ 7 八 十 島	横 井 0/ 0	4/ 6 錦 織	小 稲 2/ 5	1/ 2 新 城	東 濱 10/12
0/ 0 若 松	田 遷 0/ 3 1/1	5/ 5 3/ 5 藤 井	村 尾 0/ 0	0/ 0 加 藤	小 塚 0/ 0
0/ 0 小 松	戸 塚 純 K	1/ 4 内 富	万 谷 2/ 7		小 館 0/ 0
	金 塚 0/ 1		早 船 2/10		金 且 姫 1/ 3
0/0 28/39	8(FPP)4	13/38 3/4	5/6 26/45	5(FPP)20	13/39 0/0
0.400 2/5 寺 田	近 藤 3/19 0.158	0.524 11/21 飛 田	浅 井 11/28 0.393	0.304 7/23 堂 面	藤 間 14/38 0.368
0.444 8/18 田 代	家 城 3/15 0.200	0.625 5/8 南	毛 利 2/11 0.182	0.500 8/16 田 口	山 中 0/0 0.000
0.435 10/23 (GK) 審判(土橋・清水)	6/34 0.176 観客 451人	0.552 16/29 (GK) 審判(貝沼・須原)	13/39 0.333 観客 515人	0.385 15/39 (GK) 審判(家永・福島)	14/38 0.368 観客 644人

## プレーオフ情報

### プレーオフ日程表

月/日(曜)	開催地	会場	男/女	カード
3月9日(土)	東京	駒沢体育館	女子	13:10~①プレーオフ準決勝 通算2位vs通算3位
			男子	15:20~②プレーオフ準決勝 通算1位vs通算4位
			男子	17:30~③プレーオフ準決勝 通算2位vs通算3位
3月10日(日)	東京	駒沢体育館	女子	13:15~プレーオフ決勝 通算1位vs①の勝者
			男子	15:30~プレーオフ決勝 ②の勝者vs③の勝者

※出場確定 男子・大崎電気、トヨタ車体、湧永製薬  
女子・オムロン、広島メイプルレッズ、北國銀行

[JHLジュニアリーグ決勝] 3月10日(日)

10:00~女子・北陸電力Jr. vs 琉球コラソンJr.

10:45~男子・北國銀行Jr. vs 琉球コラソンJr.

### 入場料金

券 種	当日券	前売券
アリーナ席	2,700円	2,300円
スタンド席(2階席、3階席)	1,300円	1,000円
小学生	500円	400円

※アリーナ席、スタンド席ともに価格は同じです。

### 前売券販売中

■チケットぴあ、ローソンチケット、e+、CNプレイガイドで販売  
■問い合わせ 日本ハンドボールリーグ機構(TEL03-3481-2494)

テレビ中継 ※両日とも放送時間延長あり

試合日時	対戦カード	放送日	放送時間	放送チャンネル
3月9日(土)	男女準決勝	3月9日(土)	13:15~19:28 (生中継)	BS12
3月10日(日)	男女決勝	3月10日(日)	13:00~17:28 (生中継)	BS12

最新情報は日本リーグホームページで <http://www.jhl.handball.jp/>

# 男女個人ランキング 第17週終了現在

**《男子》**

**《女子》**

## 得点王

1 東長濱 秀作 (琉球コラソン)	95点	(15試合)	1 宋 海林 (マイブルレッズ)	91点	(13試合)
2 村山 裕次 (琉球コラソン)	87点	(15試合)	2 藤井 紫緒 (オムロン)	86点	(13試合)
3 上野 承太 (トヨタ自動車東日本)	86点	(14試合)	3 高山 智恵 (マイブルレッズ)	79点	(13試合)
4 渡部 仁 (トヨタ車体)	75点	(15試合)	4 上町 史織 (北國銀行)	74点	(13試合)
5 東長濱 秀希 (大崎電気)	74点	(14試合)	5 八十島 智美 (北國銀行)	56点	(13試合)
6 鈴木 濟 (トヨタ紡織九州)	72点	(14試合)	6 横嶋 かおる (北國銀行)	54点	(13試合)
7 中畠 嘉之 (トヨタ紡織九州)	70点	(14試合)	6 新城 明奈 (マイブルレッズ)	54点	(13試合)
7 中島 晋太郎 (豊田合成)	70点	(14試合)	8 東濱 裕子 (オムロン)	53点	(13試合)
7 赤塚 孝治 (北陸電力)	70点	(14試合)	9 早川 志歩 (マイブルレッズ)	51点	(13試合)
10 富田 恭介 (トヨタ車体)	64点	(15試合)	10 田中美音子 (ソニーセミコンダクタ)	49点	(13試合)

## フィールド得点

1 村山 裕次 (琉球コラソン)	87点	(15試合)	1 高山 智恵 (マイブルレッズ)	77点	(13試合)
2 上野 承太 (トヨタ自動車東日本)	80点	(14試合)	2 宋 海林 (マイブルレッズ)	63点	(13試合)
3 東長濱 秀作 (琉球コラソン)	77点	(15試合)	3 藤井 紫緒 (オムロン)	57点	(13試合)
4 鈴木 濟 (トヨタ紡織九州)	71点	(14試合)	4 八十島 智美 (北國銀行)	56点	(13試合)
5 中畠 嘉之 (トヨタ紡織九州)	70点	(14試合)	5 横嶋 かおる (北國銀行)	54点	(13試合)
5 中島 晋太郎 (豊田合成)	70点	(14試合)	6 東濱 裕子 (オムロン)	53点	(13試合)
7 富田 恭介 (トヨタ車体)	64点	(15試合)	7 早川 志歩 (マイブルレッズ)	50点	(13試合)
8 豊田 賢治 (大崎電気)	59点	(14試合)	8 新城 明奈 (マイブルレッズ)	49点	(13試合)
8 渡部 仁 (トヨタ車体)	59点	(15試合)	9 田中美音子 (ソニーセミコンダクタ)	48点	(13試合)
10 切越 巧也 (北陸電力)	58点	(14試合)	10 勝連 智恵 (オムロン)	47点	(13試合)

## シート率 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 富田 恭介 (トヨタ車体)	64点/ 89射 0.719	1 横嶋 かおる (北國銀行)	54点/ 64射 0.844
2 豊田 賢治 (大崎電気)	59点/ 85射 0.694	2 八十島 智美 (北國銀行)	56点/ 79射 0.709
3 渡部 仁 (トヨタ車体)	59点/ 87射 0.678	3 高山 智恵 (マイブルレッズ)	77点/ 110射 0.700
4 鈴木 濟 (トヨタ紡織九州)	71点/ 112射 0.634	4 早川 志歩 (マイブルレッズ)	50点/ 75射 0.667
5 中畠 嘉之 (トヨタ紡織九州)	70点/ 122射 0.574	5 新城 明奈 (マイブルレッズ)	49点/ 75射 0.653
6 村山 裕次 (琉球コラソン)	87点/ 164射 0.530	6 勝連 智恵 (オムロン)	47点/ 72射 0.653
7 中島 晋太郎 (豊田合成)	70点/ 133射 0.526	7 田中美音子 (ソニーセミコンダクタ)	48点/ 82射 0.585
8 切越 巧也 (北陸電力)	58点/ 118射 0.492	8 藤井 紫緒 (オムロン)	57点/ 106射 0.538
9 東長濱 秀作 (琉球コラソン)	77点/ 178射 0.433	9 宋 海林 (マイブルレッズ)	63点/ 127射 0.496
10 上野 承太 (トヨタ自動車東日本)	80点/ 190射 0.421	10 東濱 裕子 (オムロン)	53点/ 107射 0.495

## 7mスロー得点

1 野村 喜亮 (大同特殊鋼)	21点	(14試合)	1 上町 史織 (北國銀行)	30点	(13試合)
2 東長濱 秀希 (大崎電気)	20点	(14試合)	2 藤井 紫緒 (オムロン)	29点	(13試合)
3 東長濱 秀作 (琉球コラソン)	18点	(15試合)	3 宋 海林 (マイブルレッズ)	28点	(13試合)
4 渡部 仁 (トヨタ車体)	16点	(15試合)	4 藤井 保奈美 (ソニーセミコンダクタ)	16点	(13試合)
5 桶口 瞳 (湧永製薬)	15点	(12試合)	5 山野 由美子 (ソニーセミコンダクタ)	15点	(10試合)
5 崎前 健治 (トヨタ自動車東日本)	15点	(14試合)	6 鈴木 身江子 (H C 名古屋)	12点	(13試合)
7 赤塚 孝治 (北陸電力)	13点	(14試合)	7 増田 寛那 (マイブルレッズ)	10点	(13試合)
8 野田 祐希 (豊田合成)	11点	(14試合)	8 阿久田 実咲 (バイオレットアイリス)	7点	(13試合)
8 東江 太輝 (湧永製薬)	11点	(14試合)	9 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	6点	(13試合)
10 柳 匠 郎 (トヨタ紡織九州)	10点	(14試合)	10 新城 明奈 (マイブルレッズ)	5点	(13試合)
10 藤山 岳士 (トヨタ紡織九州)	10点	(14試合)			

## シート阻止率 (フィールドシートを受けた数が、男子9位・女子6位以内のGKが対象)

1 甲斐 昭人 (トヨタ車体)	152本/ 342射 0.444	1 藤間 かおり (オムロン)	189本/ 377射 0.501
2 浦和 克行 (大崎電気)	180本/ 418射 0.431	2 田代 ひろみ (北國銀行)	160本/ 350射 0.457
3 久保 侑生 (大同特殊鋼)	130本/ 355射 0.366	3 飛田 季実子 (ソニーセミコンダクタ)	145本/ 373射 0.389
4 志水 孝行 (湧永製薬)	129本/ 362射 0.356	4 浅井 友可里 (バイオレットアイリス)	93本/ 244射 0.381
5 藤堂 聖二 (豊田合成)	124本/ 354射 0.350	5 毛利 久美 (バイオレットアイリス)	86本/ 250射 0.344
6 石田 孝一 (琉球コラソン)	176本/ 515射 0.342	6 近藤 澄江 (H C 名古屋)	111本/ 360射 0.308
7 廣瀬 騎優 (北陸電力)	89本/ 288射 0.309		
8 関口 勝志 (トヨタ自動車東日本)	181本/ 624射 0.290		
9 松野 雅崇 (トヨタ紡織九州)	101本/ 349射 0.289		

## 7mスロー阻止率 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1 志水 孝行 (湧永製薬)	9本/ 21射 0.429	1 南 裕子 (ソニーセミコンダクタ)	9本/ 20射 0.450
1 久保 侑生 (大同特殊鋼)	6本/ 14射 0.429	2 堂面 妙子 (マイブルレッズ)	9本/ 22射 0.409
3 石田 孝一 (琉球コラソン)	6本/ 15射 0.400	3 田口 舞 (マイブルレッズ)	5本/ 13射 0.385
4 廣瀬 騎優 (北陸電力)	7本/ 22射 0.318	4 藤間 かおり (オムロン)	12本/ 33射 0.364
5 関口 勝志 (トヨタ自動車東日本)	8本/ 27射 0.296	4 飛田 季実子 (ソニーセミコンダクタ)	8本/ 22射 0.364
6 吉田 耕平 (大崎電気)	4本/ 15射 0.267	6 寺田 三友紀 (北國銀行)	7本/ 23射 0.304
7 松野 雅崇 (トヨタ紡織九州)	4本/ 17射 0.235	7 毛利 久美 (バイオレットアイリス)	10本/ 33射 0.303
8 木下 国大 (トヨタ車体)	3本/ 15射 0.200	8 浅井 友可里 (バイオレットアイリス)	9本/ 41射 0.220

第37回日本ハンドボールリーグ成績表

第17週第3日終了 2月11日

順位	男子	大崎電気	トヨタ車体	湧永製薬	琉球コラソン	大同特殊鋼	トヨタ紡織九州	豊田合成	北陸電力	トヨタ自動車東日本	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差		
1	大崎電気	39 ○ 31	30 ○ 23	30 ○ 27	34 ○ 19	29 ○ 26	29 ○ 23	34 ○ 29	37 ○ 35	38 ○ 30	33 ○ 21	41 14	14	0	0	28	478	357	121	
2	トヨタ車体	31 ● 39	29 ○ 26	25 ○ 23	29 ○ 25	27 ○ 26	36 ○ 24	33 ○ 27	40 ○ 26	37 ○ 27	32 ○ 18	45 15	14	0	1	28	497	379	118	
3	湧永製薬	23 ● 30	27 ● 30	26 ● 29	23 ● 25	27 ○ 25	29 ○ 27	32 ○ 27	29 ○ 28	30 ○ 20	17 17	43 26	9	1	4	19	402	341	61	
4	琉球コラソン	19 ● 34	26 ● 31	25 ● 29	26 ● 27	25 ● 27	20 ○ 19	22 ● 25	31 ○ 29	30 ○ 20	27 ● 21	25 15	31	7	1	7	15	396	388	8
5	大同特殊鋼	26 ● 29	23 ● 36	24 ● 30	20 ● 29	27 ● 29	19 ● 20	25 ● 22	21 △ 21	29 ○ 24	24 ○ 21	41 ○ 22	6	1	7	13	374	358	16	
6	トヨタ紡織九州	29 ● 34	35 ● 37	27 ● 33	26 ● 40	28 ● 33	29 ● 31	21 △ 21	29 ○ 21	21 △ 21	27 ○ 21	32 ○ 28	5	2	7	12	427	412	15	
7	豊田合成	30 ● 38	17 ● 35	30 ● 37	27 ● 30	20 ● 17	17 △ 20	21 ● 27	24 ● 29	21 ● 24	27 ● 27	30 ○ 24	2	3	9	7	331	389	-58	
8	北陸電力	24 ● 38	26 ● 33	27 ● 37	18 ● 32	14 ● 30	33 ○ 26	25 ● 31	21 ● 28	24 ● 32	31 ● 30	30 ● 32	2	0	12	4	350	436	-86	
9	トヨタ自動車東日本	21 ● 41	19 ● 45	22 ● 36	26 ● 43	21 ● 36	18 ● 37	21 ● 32	22 ● 40	22 ● 38	24 ● 42	32 ○ 26	1	0	13	2	319	514	-195	

順位	女子	オムロン	広島メイプルレッスン	北國銀行	ソニーセミコンダクタ	三重パイオレットアイリス	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差				
1	オムロン	30 ○ 18	26 △ 16	25 ○ 22	22 ○ 18	22 △ 21	19 ○ 15	33 ○ 16	32 ○ 12	30 ○ 12	33 ○ 10	10	2	1	22	350	230	120	
2	広島メイプルレッスン	18 ● 30	26 △ 26	26 ○ 26	28 ● 32	27 ○ 26	30 ○ 26	38 ○ 22	32 ○ 19	37 ○ 18	29 ○ 10	10	1	2	21	369	290	79	
3	北國銀行	18 ● 22	16 ● 22	22 △ 24	22 ○ 28	26 ○ 25	27 ○ 17	36 ○ 7	33 ○ 16	33 ○ 16	33 ○ 9	9	1	3	19	349	235	114	
4	ソニーセミコンダクタ	15 ● 19	21 ● 24	26 ● 30	22 ● 27	19 ● 26	25 ● 23	17 ● 20	16 ● 13	31 ● 13	25 ● 10	24 ○ 17	5	0	8	10	293	279	14
5	三重パイオレットアイリス	16 ● 33	12 ● 32	17 ● 38	17 ● 32	18 ● 37	7 ● 36	16 ● 23	20 ● 31	13 ● 21	23 ● 16	21 ○ 14	3	0	10	6	216	370	-154
6	HC名古屋	16 ● 33	14 ● 32	10 ● 30	14 ● 29	18 ● 27	9 ● 33	11 ● 29	16 ● 28	10 ● 24	14 ● 21	14 0	0	13	0	185	358	-173	

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点 の多い順で順位付けしています。